

京都府行財政改革支援等特別交付金 自己評価調書

団体名：木津川市（相楽中部消防組合）

1. 平成26年度 行財政改革推進計画について【総括表】

計画の概要等	背景	当組合構成市町村は、合併直後の木津川市については人口が増加しているが、合併算定替適用中であり、また東部3町村（笠置町、和束町、南山城村）については人口減少が進む一方、大規模事業所も無く、自主財源が少ない状況である。そのような中、住民の安心・安全を守るための消防戦力強化整備を行うに当たっては、有利な地方債及び補助金を財源としなければ、事業が行えない状況である。		
	必要性	今後、東部3町村については税収の増は見込めず、また木津川市にあつては交付税額が減少していく中、人口増加に伴う複雑多様化する災害現場への対応及び僻地への迅速な災害対応を実施し、住民の安心・安全を守るため、一部事務組合にあつても更なる業務の改革を行い、消防の戦力を強化することが不可欠であり、地域住民の信頼と期待に応えていかなければならない。更に、平成19年からの人員削減及び出動件数の増加に伴い事務が増大し処理に要する時間が増えるなど、内部業務の改革も大きな課題となっている。		
	概要	年2回の組合構成市町村との担当者との会議にて、市町村担当者及び当消防担当者と協議を行い、車両更新、機器更新の計画を作成、また講習等のアンケートで出てきた消防署への要望等を考慮し、より地域事情にあつた効果的な更新計画を作成し、また有利な特定財源等を折り込み、構成市町村の負担の軽減を図り、効率の良い事業を行う。		
	効果	本計画により、更なる消防戦力の強化、地域住民の信頼と期待に応えるとともに、車両及び資機材の長寿命化対策を始めとする様々な行革の取組を一層推進することにより、組合構成市町村の財政負担を軽減し、持続的、安定的な財政運営の構築を図る。		
平成26年度行財政改革推進計画に伴う事業実績による行革効果について				
事業分類	事業名・実施項目	取組実績の概要	主な実績数値（出来高数値等）	行革効果（単位：人・千円等）
広域連携事業支援	はしご自動車オーバーホール事業	はしご自動車をオーバーホールする事によって長寿命化を図り、車両更新に比べ経費の削減となる。	更新時費用約 210,000千円 オーバーホール 21,708千円	消防業務に特化した一部事務組合であることから、経費を構成市町村で分担しており、それぞれの負担が軽減できた。

京都府行財政改革支援等特別交付金 自己評価調書

団体名 木津川市(相楽中部消防組合)

2. 平成26年度 行財政改革支援等特別交付金事業の個別評価について 【小規模市町村支援・広域連携事業支援用 個別表】

支援区分		事業名・実施項目							
広域連携事業支援		はしご自動車オーバーホール事業							
事業着手前									
課題・現状	当該はしご自動車は、平成8年に取得し26年度で18年を経過する車両です。点検・整備には万全を期していますが、長期使用による性能低下等が見受けられます。消防力を維持し住民の安心・安全を守るため、改善の必要に迫られています。								
事業概要	長期使用により性能低下し安全性に欠けた車両をオーバーホールすることにより、性能を回復させ安全・確実性を保持するものです。 オーバーホールとは、梯体、油圧装置、電気系統等、全ての部品を分解し消耗品交換、歪み補正、締め付け調整を行い、再度組み直す作業をするもので、潜在的不良箇所の発見、修正ができ、機能、性能が回復するものです。								
期待される事業効果等	26年度に更新した場合は、多額の費用を要することになり、財政を圧迫することになります。26年度にオーバーホールを実施することにより、6年間使用期限を延長することができるため、車両の長寿命化が図れ、住民の安心・安全を守るための消防力の維持及び財政への負担軽減の効果が期待されます。								
事業実績									
取組状況	年2回の構成市町村との担当者会議にて、市町村担当者及び当消防本部担当者と協議を行い、車両更新、機器更新の計画を作成、また、講習等のアンケートで出てきた消防署への要望等を考慮し、より地域事情にあった効果的な更新計画を作成し、また、有利な特定財源等を折り込み、構成市町村の負担の軽減を図り、効率が良い事業を実施できるよう取り組んでいる。								
主な実績数値 (出来高数値等)	はしご自動車 更新費用約210,000,000円(更新時見積) オーバーホール費用21,708,000円								
期待される事業効果等 に対する達成状況	達成	(左の理由)							
		本計画により、はしご自動車車両の長寿命化が図れ、更新計画を6年後にすることができた。その結果、消防力の維持と、組合構成市町村の財政負担を軽減し、持続的、安定的な財政運営の構築が図れたため。							
行革効果									
行革効果の考え方	オーバーホール実施により、はしご自動車の長寿命化を図ることができ、経費削減に至る。								
年度	H26		木津川市	笠置町	和束町	南山城村			
本事業を行わなかった場合に係る経費等(a)	210,000,000	左のうち	186,483,000	4,063,000	11,589,000	7,865,000			
本事業の実績額(b)	21,708,000		19,277,000	420,000	1,198,000	813,000			
行革効果(a)-(b)	188,292,000		167,206,000	3,643,000	10,391,000	7,052,000			